



令和6年度 訪問教育の概要

茨城県立境特別支援学校



○ 対象者

就学は可能であるが、障害の状態が重度であるか又は重複しており、学校へ通学して教育を受けることが困難な者であること。

○ 学習の方法

- (1) 本校の訪問教育は、古河市にある『芳香会病院 青嵐荘療育園』という重症心身障害者施設において訪問教育を行っています。
- (2) 児童生徒の住む自宅等に、教師が出向いて学習をします。
対象になる児童生徒がいないため、今年度は実施していません。
- (3) 個別や集団で学習しています。
令和4年度より、感染症対策としてオンラインによる授業を行っていましたが、令和6年度5月より、芳香会病院青嵐荘療育園の施設内に教師が入って、児童生徒と対面授業を行っています。

○ 在籍者

今年度は、小学部2人、中学部0人、高等部7人(合計9人)が在籍しています。

(令和6年5月1日現在)

○ 授業日数

週3回、年間105日を標準としています。

1回の学習時間は2時間ですが、学習時間や内容については、児童生徒の心身の状況に応じて行います。

○ 訪問教育の年間授業時数

	小学部 1～6年	中学部 1～3年	高等部 1～3年
自立活動	210	210	210

○ 学習の様子

各学部の児童生徒の活動の様子 → 訪問教育をご覧ください。

訪問教育の取り組み ~みんなの笑顔☆輝け~

訪問教育の教育目標

- 保護者や施設・医療などの関係機関と連携を図り、児童・生徒の実態や教育的ニーズを的確に把握し、個に応じた指導・支援について担当者間で共通理解を図り、学習の充実に努めます。
- 個別・小集団の学習において、人とかかわる力を育むとともに、学習意欲を高めるICT教材や各種教材・教具の工夫に努めます。
- 学校行事や地域交流等の活動を通して、周囲の人々に気付きかかわる力を育みます。

自ら気付く力の育成

○さまざまな学習や体験を通して、「自分から気付く」力を育てます。

自立活動

苺の匂いを感じよう



せいさく



うんどう



おんがく



身近な人を知ろう



行事や季節、特設単位では、グループで学習をします。

「おんがく」「せいさく」「うんどう」などを題材にして、個別課題に応じた学習を行います。

学校行事



入学式や卒業式、運動会や文化祭などの学校行事に参加します。

人とかかわる力の育成

○さまざまな人とのかかわりを通して、社会性を育みます。

授業の活動の様子から



昨年度、三和高校生と本校高等部1年生の学校間交流に、オンラインで参加しました。

地域交流(オンライン交流)



ボランティア団体の皆様と交流をします。

地域交流(窓越しの交流)

